

平成18年度 伊丹市行政評価 ～施策評価編～

施策コード	1308	施策名	高齢者の就労支援
-------	------	-----	----------

「これから5年間のまちづくりプラン」における位置付け	視 点	項 目
	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現	きめ細かな地域福祉の推進

評価担当部局名	健康福祉部	関連部局	-	事業費合計(百万円)	H17(決算) 52.8	H18(予算) 48.4
---------	-------	------	---	------------	-----------------	-----------------

目指すべき目標・状態	高齢者の就業機会を確保し、知識と経験の活用と社会参加の促進を図ることにより、高齢者の生きがいと健康づくりを行う。
------------	--

施策を取り巻く環境

2007年問題にみられるよう、多くの退職者の就業機会を確保するため多様な職種や働き方を提供し、健康で働きつづけられる環境整備が必要となる。

成果を測定する指標	指標名(単位)		算式等	現状(H17年度)	H18年度		H22年度	計画達成率(%)
					計画値	実績値	計画値	
(上げた方がよい指標の場合「↑」、下げた方がよい指標の場合「↓」を指標名の右側に記載。H22年度計画値欄は、それ以前に終期を迎えるものはその年度の計画値。)	①	シルバー人材センター会員数(人)	↑	高齢者の就業機会を確保するシルバー人材センターの会員数の伸びを指標とする。	2,385	2,550	-	-
	②							-
	③							-

評価結果	19年度から実施します。	評価の判断理由	施策全体の評価については、今年度設定した施策目標・成果指標の達成状況などを実績に基づき総合的に判断して行うこととなります。今年度は、評価実施初年度でそうした実績に基づく評価ができないため、来年度から評価を実施することとしています。
------	--------------	---------	---

各指標の目標達成状況

①シルバー人材センター会員数(人)

年度	計画値	実績値
H17	-	2,385
H18	2,550	-
H22	-	-

実施している事務事業と評価結果

No.	事務事業名				評価結果
	活動指標(単位)	H17計画値	H17実績値	H18計画値	
①	シルバー人材センター運営補助事業				A
	年度末会員数(人)	2,500	2,385	2,550	
②	老人福祉施設(シルバーワークプラザ)整備費補助事業				B
	補助施設数(施設)	3	3	1	
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					
⑮					

※事務事業名に【新規】の表記がある事業はH18年度開始事業、【未実施】の表記がある事業はH19年度以降に開始予定の事業です。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130801							
事務事業名	シルバー人材センター運営補助事業	担当部局・課 健康福祉部 高年福祉課						
事業内容	「共働・共助・自主・自立」の理念に基づき、働く機会を得たいという高齢者のニーズに応え、また、高齢者の多種多様な能力を活用し、高齢者の社会参加を促進するとともに、生活支援や介護支援サービスの提供を行なうための運営補助							
	事業開始(予定)年度	昭和55年度						
	事業終了(予定)年度	—						
この事業の上位施策	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現						
	項目	きめ細かな地域福祉の推進						
	施策	高齢者の就労支援						
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。								
事業の目的	高齢者の就業機会を確保し、知識と経験の活用と社会参加の促進を図ることにより、高齢者の生きがいと健康づくりを行なう。	予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。) (款) 民生費 (項) 老人福祉費 (事項) 高齢者生きがい対策事業費 (目) 老人福祉総務費						
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)					
	事業費	財源内訳		事業費	財源内訳			
		29,935千円	国・県補助金等		—	29,812千円	国・県補助金等	—
			市債		—		市債	—
			その他(使用料等)		—		その他(使用料等)	—
	一般財源(市税等)	29,935千円	一般財源(市税等)	29,812千円				
投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
経費合計	30,792千円		経費合計	30,669千円				
活動指標	指標名(単位)	年度末会員数(人)			計画と実績	年度	H17年度	H18年度
	意味・算式等	登録会員の増	区分	計画値		2,500	2,550	
			実績値	2,385				

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130802		担当部署・課	健康福祉部 高年福祉課						
事務事業名	老人福祉施設（シルバーワークプラザ）整備費補助事業			事業開始(予定)年度	平成15年度					
事業内容	特別養護老人ホームあそか苑、伸幸苑の建設資金への利子補給、シルバーワークプラザ建設資金への元利補給を行なう。（平成18年度から、あそか苑及び伸幸苑の利子補給について検討し、廃止。）			事業終了(予定)年度	—					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現							
		項目	きめ細かな地域福祉の推進							
		施策	高齢者の就労支援							
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。										
事業の目的	伊丹市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき介護保険施設等の基盤整備を行う。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 老人福祉費 (事項) 老人福祉施設整備費 (目) 老人福祉施設整備費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)						
	事業費	22,830千円	財源内訳			事業費	18,625千円	財源内訳		
			国・県補助金等	—				国・県補助金等	—	
			市債	—				市債	—	
			その他(使用料等)	—				その他(使用料等)	—	
			一般財源(市税等)	22,830千円				一般財源(市税等)	18,625千円	
投入人員	0.05人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
人件費	428千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
経費合計	23,258千円			経費合計	19,857千円					
活動指標	指標名(単位)	補助施設数(施設)				計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	整備費補助をしている施設数						計画値	3	1
							実績値	3		

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。